

事業所名

れんと

支援プログラム

作成日

R7 年

3 月

28 日

法人（事業所）理念		人と人を繋ぐ架け橋を創造する			
支援方針		楽しいこと、嬉しいことをたくさん経験する中で「自分でわかること」「自分でできること」を増やし、スタッフも共に成長する			
営業時間		9 時	分から	18 時	分まで
		送迎実施の有無		あり	
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	設備や環境（視覚的配慮）を整えて、事業所の衛生管理や安全確保に努め、活動が安心・安全に展開されるようにします。毎日の健康管理と個々の心身の状況に目を配りながら、放課後の居場所として安心して過ごせるようにします。一人一人の状況に合わせて、身辺処理など日常生活に必要なスキルを身に付けられるように課題を取り入れ支援していきます。			
	運動・感覚	五感が刺激され、感覚（バランス感覚、力加減など）を十分に活用できる活動を行い、身体のコントロールができるように支援していきます。日常生活に必要な動作（立つ、座る、歩くなど）の場の状況に合わせた姿勢保持が行えるように、体の機能を維持・強化するための活動を取り入れていきます。			
	認知・行動	活動を通して、物の大きさ・形・色の違い、数などの概念獲得に向けて課題の提供を行います。社会資源（公共施設、飲食店、商店など）を活用し、体験や経験を増やし適切な行動と過ごし方の習得を支援します。適切な行動への対応支援を行い、行動障害の予防に努めます。			
	言語コミュニケーション	それぞれに合ったコミュニケーション手段を選定し、言葉の他、表情やジェスチャー、様々な教材などを用いて他者との対話や表現力を高める活動を行い、安心して意思伝達が行えるように支援していきます。集団活動で他者とのやり取りができる場を提供し、一人ひとりの人格や意見を尊重できるように職員が間に入りながら活動を進めていけるよう支援します。			
	人間関係社会性	良好な信頼関係を築き、対人関係を形成していくうえで、職員がモデルとなり支援を行います。様々な集団活動の中で、社会生活に必要なマナーやルールを身に付け、協調した関わりを持てるように支援します。他者との適正な距離感を持てるように、必要に応じて声を掛け、良好な関係が築けるように支援します。			
家族支援		必要に応じて面談の機会を設け、個別支援などについて情報共有を行います。お迎えや送迎時にその日の様子を伝えたり、家族からの希望要望・不安を確認して今後の支援に反映させます。ペアレントトレーニングの機会を設けていきます。		移行支援	ご家族と一緒に、準備を行って行きます。縦横連携を密に行い進級進学に必要な情報を提示・共有し、本人・家族が安心して新しい環境に向かえるよう関わります。移行支援会議に積極的に参加していきます。
地域支援・地域連携		関係機関と役割分担を行い、自立に向けた支援ができるように情報共有や提案をしていきます。関係機関と連携を取り、本人とのかかわり方や将来を見据えた支援について、情報共有をします。		職員の質の向上	キャリアパスを実施し、等級に合わせた研修の実施や、スペシャルラーニングを活用しています。職員間で情報の共有を丁寧に行い、統一した支援を行っています。
主な行事等		初詣 正月遊び 豆まき お花見 プール お月見ゲーム 七五三参り ハロウィンパーティー クリスマス会 散歩 大掃除 外食 買い物学習 お誕生会 感触遊び 季節の工作 季節のおやつ作り 作品展 ゴミ拾い 避難訓練 交通安全教室 合同交流会（縁日・運動会・芋煮会など）			